

No. 556
2017年
11月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055
http://www.orsj.or.jp/

2018～2019年度役員等の選挙日程

- (1) 会長候補者の信任投票
- (2) 改選役員（理事，監事）の選挙
- (3) 代議員の選挙

以上3件とも，2018年2月に名誉会員，正会員による投票の予定です．なお，(2)はOR誌による広報，(3)は信任投票になる場合もあります．また，改選数と候補者数が同数の場合，無投票になることがあります．

● 2018～2019年度 役員候補者ご推薦のお願い

役員規程に従って2018～2019年度の役員の選出を行います．つきましては，候補者のご推薦をお願いいたします．

- ・推薦者は，名誉会員または正会員5名以上とし，ご本人の同意を得たうえでご推薦ください．
- ・会務の分担ごとの選挙のため，下記推薦届の□に✓を入れてください．
- ・推薦届締切：2017年12月15日
- ・推薦届送り先：OR学会事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055, E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
選挙管理委員会

..... 切り取り線

2017年 月 日

役員候補者（会長を除く）推薦届

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

2018～2019年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- | | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 副会長（1名） | <input type="checkbox"/> 庶務理事 | <input type="checkbox"/> 研究普及理事（普及） | <input type="checkbox"/> 編集理事（論文誌） | <input type="checkbox"/> 会計理事 |
| <input type="checkbox"/> 渉外理事 | <input type="checkbox"/> 広報理事 | <input type="checkbox"/> 無任所理事（本部所属） | <input type="checkbox"/> 無任所理事（支部所属） | <input type="checkbox"/> 監事 |

_____ 氏を推薦いたします．

推薦代表者：_____ ⑩（所属：_____）

_____ ⑩ _____ ⑩

_____ ⑩ _____ ⑩

候補者略歴（100字程度）

上記の推薦に同意します．候補者_____ ⑩（所属：_____）

● 2018～2019年度代議員立候補および候補者ご推薦のお願い

代議員選挙規程に従って2018～2019年度の代議員の選出を行います。つきましては、立候補および候補者のご推薦をお願いいたします。

- ・代議員候補者は、名誉会員または正会員とします。
- ・推薦者は、名誉会員または正会員とし、ご本人の同意を得たうえで推薦してください。
- ・立候補及び推薦届締切：2017年12月15日（メールにてお送りください。書式自由。）
- ・立候補及び推薦届送信先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
代議員選挙管理委員会

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦締切日

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2017年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2018年1月31日
3. 学生論文賞：2018年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html> からダウンロードしてご利用ください。過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円／1名）

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があり

ます。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞金20万円／1名）

〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満65歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金10万円／1名）
* 2017年度より業績賞被推薦者は「60歳以下」から「65歳以下」に変更されました。

〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞金30万円／1件）

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

講演者：中田和秀

講演概要：ここ数年、我々のグループは経営科学系研究部会連合協議会が主催しているデータ解析コンペティションに参加している。このコンペティションへの参加を通じて感じたことを報告する。また、充実したデータ解析をグループで進めていくコツについて、我々の経験をもとに紹介する。

参加費：無料

申し込み方法：申し込み不要

問い合わせ先：

京都大学大学院情報学研究所 山下信雄

E-mail: nobuo@i.kyoto-u.ac.jp

TEL: 075-753-4759

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

部会 URL：http://www.orsj.or.jp/queue/

・第271回

日時：2017年11月18日(土) 14:00～17:00

場所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館 (W) 809号室4

テーマと講師：

- (1) 「Performance of Large Cellular Networks; Data and Models
Bartłomiej Błaszczyszyn (INRIA-ENS, Paris, France)
- (2) 平均上界付き有界確率過程における最大統計量の期待値の最適な上界
高田寛之 (長崎大学)

問合せ先：幹事 佐久間大 (防衛大学校)

E-mail: sakuma@nda.ac.jp

● 新宿 OR 研究会

〔第373回〕

日時：2017年11月21日(火) 12:00～14:00

講師：森戸 晋 (早稲田大学理工学術院)

テーマ：鉄道の計画立案の最適化一車両運用計画を中心として

場所：OR学会事務局会議室

(千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html

参加費：2,000円 (昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

2017年11月号

● 2018年度研究部会新設および継続の申請について

研究普及委員会では、その活動の大きな柱の1つとして、研究部会・グループの設立・運営のお手伝いをしております。研究部会の設置期間は、原則として2年以内ですが、理事会の承認が得られればさらに1年延長することも可能です。部会が発足しますと財政的な補助もいたします。研究テーマは、基礎理論から実践研究までご自由にお考えいただいて結構です。

今年度活動中の研究部会・グループは以下のとおりです。詳しくは学会WEBをご覧ください。

http://www.orsj.or.jp/activity/sig.html

常設研究部会	
1	待ち行列
2	数理計画 (RAMP)
3	評価のOR
4	意思決定法
5	サプライチェーン戦略
研究部会	
1	アグリサプライチェーンマネジメント
2	最適化の基盤とフロンティア
3	数理的発想とその実践
4	離散アルゴリズムの応用と理論
5	ORによる大規模インフラストラクチャー分析
6	確率モデルとその応用
7	不確実性環境下の意思決定モデリング
8	エネルギーミックスの諸問題とOR
9	オリンピック、パラリンピックとOR
10	システム信頼性
11	データサイエンスとマーケティング分析
12	危機管理と防衛のOR
研究グループ	
1	地域課題解決のOR

申請の締切は新設・継続ともに12月8日(金)です。申請用紙は事務局までご請求ください。

● 他学協会協賛案内

* OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会にお問い合わせください。

・進化計算シンポジウム2017

日 程：2017年12月9日(土)～10日(日)
 会 場：グリーンピア大沼（北海道茅部郡森町）
 発表申込受付開始：電子情報通信学会・情報論的学習
 理論と機械学習研究専門委員会
 原稿締切：11月3日(金)
 参加申込み締切：11月24日(金)
 WEB：http://www.jpnnsec.org/symposium201703.html

・日本機械学会生産システム部門研究発表講演会
 2018

開催日：2018年3月14日(水)
 会 場：明治大学アカデミーコモン9F（東京都千代
 田区神田駿河台1-1）
 講演申込締切日：2017年10月27日(金)
 講演原稿締切日：2018年1月10日(水)
 主 催：日本機械学会
 WEB：https://www.jsme.or.jp/msd/

● 公募案内

* 詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの
 「教員公募案内」をご覧ください。

・神奈川工科大学情報学部教員（AI インフラ系）

募集人員：教授または准教授 1名
 専門分野：人工知能（AI）を活用するためのICTイ
 ンフラストラクチャー技術に関する分野、または実
 用的なAIシステムを構築運用するためのシステム
 技術分野、例えばクラウドコンピューティング、
 IoTなどの構築や運用に関する分野

応募資格：

- (1) ICTの教育研究に熱意があること。
- (2) 本学情報学部全体の教育研究環境の整備・改善
 やカリキュラム改革なども積極的に担当して頂
 けること。
- (3) 博士号取得または取得見込みが望ましい。
- (4) 大学院の指導ができる方。

着任時期：平成30年4月1日、またはそれ以降のでき
 るだけ早い時期

応募締切：平成29年11月17日(金) 必着

提出書類：

- (1) 履歴書・教育研究業績リスト
 （本学所定の書式、http://www.kait.jp/recruit/

からダウンロード可)

- (2) 主な論文の別刷またはコピー（5編まで）
- (3) 教育および研究に対する抱負（A4用紙で各1
 枚程度）
- (4) 推薦書2通（または所見を求め得る方2名の氏
 名と連絡先）

書類提出先：〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
 神奈川工科大学庶務担当部長 気付

情報学部教員選考委員長（AIインフラ系）

※封筒の表に「情報学部教員（教授・准教授）応
 募」と朱書きし、簡易書留または書留でご送付く
 ださい。

※同時の公募案件（AI応用系）と共通する部分が
 多いため、場合によっては、応募者への確認を経
 てAI応用系の応募者として取り扱うこともあります。

照会先：情報工学科教授 田中 博

TEL: 046-291-3203

E-mail: h_tanaka@ic.kanagawa-it.ac.jp

詳 細：http://www.kait.jp/recruit/をご覧ください。

・神奈川工科大学情報学部教員（AI 応用）

募集人員：教授または准教授 1名

専門分野：ICTの要素技術をベースとして人工知能
 (AI) を活用する分野。特にエンターテインメント分
 野、感性や感情を活用する分野、情報サービスシス
 テムを企画・開発・運用する分野

応募資格：

- (1) ICTの教育研究に熱意があること。
- (2) 本学情報学部全体の教育研究環境の整備・改善
 やカリキュラム改革なども積極的に担当して頂
 けること。
- (3) 博士号取得または取得見込みが望ましい。
- (4) 大学院の指導ができる方。

着任時期：平成30年4月1日、またはそれ以降のでき
 るだけ早い時期

応募締切：平成29年11月17日(金) 必着

提出書類：

- (1) 履歴書・教育研究業績リスト
 （本学所定の書式、http://www.kait.jp/recruit/
 からダウンロード可)
- (2) 主な論文の別刷またはコピー（5編まで）
- (3) 教育および研究に対する抱負（A4用紙で各
 1枚程度）

(4) 推薦書2通（または所見を求め得る方2名の氏名と連絡先）

書類提出先：〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
神奈川工科大学庶務担当部長 気付
情報学部教員選考委員長（AI応用系）

※封筒の表に「情報学部教員（教授・准教授）応募」と朱書きし，簡易書留または書留でご送付ください。

※同時の公募案件（AIインフラ系）と共通する部分が多いため，場合によっては，応募者への確認を経てAI応用系の応募者として取り扱うこともあります。

照会先：情報工学科教授 田中 博

TEL: 046-291-3203

E-mail: h_tanaka@ic.kanagawa-it.ac.jp

詳細：<http://www.kait.jp/recruit/>をご覧ください。

2018年度「研究者海外研修支援事業」派遣者募集について

国際委員会

日本オペレーションズ・リサーチ学会では2017年度に引き続き、標記支援事業を開始します。

【概要】

- ・海外の研究拠点に長期滞在経験のないOR研究者が、海外のOR研究拠点に中長期間滞在し共同研究活動を開始するための助成を行います。
- ・単発の国際会議発表に対する助成ではありません。

【背景と目的】

オペレーションズ・リサーチ（OR）の方法論に対する探求は、研究活動を国際的に展開することで一層の発展が期待できます。その上で国際的な研究ネットワークに入り込んでいくことが必要になりますが、そのためには少なくとも1ヶ月以上といった一定期間海外の研究拠点に滞在し、海外の研究者と直接的に知り合い共同研究に繋げるなど、継続的に交流するきっかけを持つことが重要です。また、とりわけ日本国内で博士号を取得した後数年間は、自らのテーマを確立していく上で難しい期間となる傾向があり、視野を広げる上でも国際的な舞台に出て共同研究者を見つけることは有効な手段となりえます。

そのような状況を念頭におき、本事業は、これまで海外のOR研究機関に滞在した経験のないORの研究者に対し、海外での共同研究拠点を築き国際的な研究者ネットワークに入り込んでいくための支援を行うことを目的とします。

本事業がこれまでの支援事業と異なるのは、国際会議などで単発の研究発表などを行うための資金援助ではなく、有望な研究者が1ヶ月程度以上、ORあるいはそれに関連する海外の研究拠点に滞在し、国際的な人的ネットワーク構築する活動を支援する点にあります。

このような人的なネットワークは、助成対象者個人にとって資するばかりでなく、長期的には学会全体の国際的交流の幅の拡大に資するものと期待しています。また有望な人材を選抜し海外に送り出すことは、日本のORの存在感を高めることにも繋がると期待しています。

【募集概要】

以下の要領で支援対象者の募集を行います。

募集定員：2名

支援内容：1名につき50万円支給

研修期間：2018年度中の開始（出発日が2019年2月末日以前）で、出発日から帰国日までが4週間以上

募集締切：2018年1月9日（火）

（その後国際委員会内で選抜を行い、1月下旬の理事会での承認（決定）を予定）

応募方法：【申請書類】の項の内容を記した電子ファイルを電子メール添付にて事務局（jimukyoku@orsj.or.jp）宛てに送付（題目は「OR学会海外研修支援応募」としてください）

宛てに送付（題目は「OR学会海外研修支援応募」としてください）

応募要件：

- ・上記研修期間に海外のORおよび関連分野の拠点機関に滞在し、ORに関する共同研究活動に専念する意思があること
- ・応募時点で博士号を取得済みであること

- ・これまで海外の研究拠点におよそ2週間以上滞在して共同研究を行った経験がない、かつ、他の類似・予算（在外研究予算など）を受けていないこと
- ・渡航前までにある程度英語でのコミュニケーションを担保できること

この他、研修期間終了後、航空券の領収書などの提出、OR学会機関誌上での体験記の寄稿、（この援助により始めた（共同）研究について）研究口頭・論文発表での援助の明記、研究口頭発表での学会ロゴの使用を派遣対象者の要件とします。

【申請書類】

応募する場合は以下の項目を記入した申請書電子ファイルを、学会事務局まで電子メール添付で提出してください。申請に基づき国際委員会で審査します。選抜に際し応募者の共同研究実行可能性と将来性を重視します。申請時点での受け入れ先の内諾は必ずしも要しません。

- ・申請者情報（氏名、所属、電子メールアドレス、会員番号（OR学会員のみ記載））
- ・滞在計画（希望する派遣先研究機関、受入研究者、おおよその滞在期間など）
- ・滞在中の達成目標（滞在中に目指すこと）および準備状況
- ・研究業績一覧（発表論文、国際会議・国内会議発表等。査読有無についても記すこと）
- ・英語のコミュニケーション能力に関する情報、国際会議参加経験、海外研究者との共同研究の経験など
- ・参照人の連絡先（氏名、所属、電子メールアドレス（または電話番号））
- ・応募要件を満たしていることの確認
- ・[参考情報] 交渉状況（滞在予定先との関係・受け入れ内諾など）

※ 応募時点での受け入れ内諾は応募の際の要件ではなく、あくまでも参考情報です。

なお、学会ウェブサイトより申請書の雛形ファイル（Microsoft Word docx ファイル）が利用可能です。

【FAQ】

- ・他の研究費予算との合算は可能ですか？
もしその予算が在外費用補助を目的とする場合、不可能です。本事業は、国際的な共同研究機会の少ない研究者に新たな海外研修の機会を提供することを目的としているので、同様の目的の資金を得ている方を対象としません。一方で他の外部予算（たとえば科研費など）が認める場合で、かつ、合算して利用する予定の場合には、申請書にその概要（期間の分割計画など）を記載してください。
- ・複数の機関に滞在することも可能ですか？
少なくとも1機関に2週間以上滞在する場合には認めます。ただし、支給額に変更はありません。
- ・応募に際し、滞在を希望する機関、あるいは、ホスト（受け入れ教員など）の事前の受け入れ承認は必要ですか？
必須ではありません。ただし、もしその当てがある場合には「参考情報」として申請書にそれを記載してください。

2017年度第4回 ORセミナー 『地理情報システム入門』

本セミナーは2017年度第2回ORセミナーとほぼ同一の内容です。

開催趣旨：フリーのGISソフト「QGIS」を使って、国勢調査をはじめとする地理空間データを可視化、分析する方法を紹介します。実際の現場で、地理空間データを利用しようとする、そもそもどのようなデータが整備されているのか、どうやってそのデータを入手するのか、など最初から躓くことも多いと思います。本セミナーは、実務や研究で地理空間データを利用しようと考えている方にとって、最適なイントロダクションとなるでしょう。事前にQGISをインストールしたパソコンをご持参いただければ、実行しながら確認できます。

(ダウンロードサイト：<http://qgis.org/ja/site/forusers/download.html>)

日時：2018年1月20日(土) 10:30~17:30

場所：南山大学 名古屋キャンパス (S棟S48室)

〒466-8673 名古屋市長和区山里町18 TEL: 052-832-3111 (代表)

名古屋市営地下鉄名城線「八事日赤」駅1番出口より徒歩8分

名古屋市営地下鉄鶴舞線「いりなか」駅1番出口より徒歩15分

交通アクセス：<http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>

コーディネーター・司会：中央大学 鳥海重喜

講師：東京大学 貞広幸雄, 東京海洋大学 渡部大輔, 中央大学 鳥海重喜

定員：60名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム：(敬称略)

10:30~10:35 **開催の挨拶** (司会：鳥海)

10:35~11:20 (S1) **「地理情報システムの概略」** (講師：貞広)

地理情報システムとは? / 地理情報システムでできること / 活用事例

11:25~12:10 (S2) **「地理空間データの基礎知識」** (講師：貞広)

測地系・座標系 / データモデル / 標準地域メッシュ

13:00~14:10 (S3) **「QGIS入門」** (講師：渡部)

基本的な操作方法 / 国勢調査データの入手 / 可視化

14:20~15:30 (S4) **「QGISによる空間解析」** (講師：渡部)

検索・集計 / バッファ分析 / ポロノイ図 / レイヤー分析

15:40~16:25 (S5) **「QGISによる総合演習」** (講師：渡部)

ストーリー仕立て (例えば、防災) の演習

16:35~17:05 (S6) **「地理情報システムの活用事例」** (講師：貞広)

地理情報システムを活用した事例研究の紹介

17:05~17:25 (S7) **「地理情報システムとOR」** (講師：鳥海)

ORの分野で地理情報システムがどう役立つか

17:25~17:30 **閉会の挨拶** (司会：鳥海)

アンケート記入

参加費 (テキスト代込み)：正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円。

ORセミナー参加者特典：正会員でない賛助会員および非会員 / 学生非会員は、入会金無料で入会でき (それぞれ正会員 / 学生会員となる), 2017年度と2018年度の年会費は免除されます。

申込方法：メールタイトル「第4回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員 / 学生会員 / 賛助会員 / 協賛学会員 / 非会員、お支払予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先：日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

申込およびお振込み締切：2018年1月12日 (金)

振込先：みずほ銀行：根津支店 (店番号235) 普通1530801

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会 (正会員と参加費同額)：日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsrpim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

*詳しくは、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご参照ください。

2018年度年会費納入のお願い

2018年度（2018年3月1日～2019年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。このようちよの支払取扱票は、2018年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名/法人名/法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書/見積書/納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1124744
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
ｼﾞﾔ) ﾈﾝｼﾞﾝ ﾈﾚｼﾞｮﾝｽﾞ ﾚﾘｻｰﾁ ｶﾞｯｶｲ

郵便振替口座 00190-6-79492
口座名：公社) 日本オペレーションズリサーチ学会

ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキユウ) (店番号019)
当座 0079492
口座名：公社) 日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員14,400円
学生会員5,000円
シニア会員7,200円
*手数料は払込人様ご負担でお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請/承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2018年1月22日に「2018年度年会費」を引き落としの予定です。口座振替の中止や振替口座変更をご希望の場合は、11月末日までに事務局にメールでお知らせください。

2018年3月ご卒業の学生会員の方へ

- 1) **ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先/自宅）および、OR誌送付先（所属先/自宅）を事務局にお知らせください。
2018年度の会費はそのままです。2018年11月に2019年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。
- 2) **退会希望の方へ**
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員のの方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。
(住所/所属先/メールアドレス/ OR誌送付先等の変更、退会届)
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。